

# チリ通信



2024年2月1日 第4号

JICA 海外協力隊 チリ派遣  
環境教育隊員 境 純一

こんにちは！今回はチリが持つ特徴的な形とその自然環境についてご紹介します。

## チリ＝細長い国

南米チリは南アメリカ大陸の西側、太平洋に面した国です。チリと聞くと細長い国をイメージされる方も多いと思いますが、実際その通りで、チリは南北の長さ4,300 kmに対し東西の幅は平均で175 kmほどです。赤道近くから南極まで続く長い地形を持つ国だけに、自然環境の変化が面白いです。北部地方はアタカマ砂漠が広がる乾燥地帯、下って首都サンティアゴがある中部地方は地中海性気候で良質な果物の山地です。そして南部地方は雨が多く湖や森林といった緑豊かな地帯が広がっています。まるで同じひとつの国とは思えないほどこの国には多様な自然環境があります。

アタカマ砂漠



## チリの基本情報

国旗の由来：

白はアンデス山脈の雪、赤は独立戦争で流された血、青と白星は国家統一のシンボル。

正式国名：チリ共和国

面積：75.6万 km<sup>2</sup>(日本の約2倍)

首都：サンティアゴ

人口：1911.6万

言語：スペイン語（公用語）

宗教：カトリック 70%、プロテスタント 15%

日本との時差：13時間



## 細長さの理由

チリが細長いにはアンデス山脈の存在とチリの歴史が関係しています。チリの東側に走っているアンデス山脈は6,000m級の山が連なる山脈のため、自然の防壁として機能しており、その厳しい環境から他国から攻め入れられることも、逆に攻め入ることもありません。そのため自然国境として今日まで機能しています。東側に領土を伸ばせないチリは別の地域で領土拡大を目指しますが、西側にあるのは太平洋。そのため領土を拡大するためには必然的に南か北に行くしかありませんでした。

1879年、チリは北部地域の鉱山資源を巡り隣国のペルー、ボリビアと戦争を行います。その戦いに勝利したチリは現在の北部の領土を獲得します。これによってチリは鉱山という貴重な資源を獲得することになり経済的に発展を遂げていきました。余談ですが、ボリビアはこの戦争で国内唯一の海へのルートを失い内陸国となりました。ボリビアは現在でもチリに対しこの領土の返還を求めており、この問題から両者は外交がありません。

その後もチリは南部地域を生活の拠点にしていたマプチェ族という先住民とも戦い現在の南部地方にまで領土を拡大しました。このような自然的な要因と過去の歴史からチリは特徴的な現在の細長い形となっています。



首都サンティアゴとアンデス山脈